

市民が集まり、憩い、楽しめる緑豊かな場所にいたしましょう



森の中の高知駅



高知を愛する皆様へ (28年11月号)

平成28年11月1日

季節外れの暑さがやっと終わり、秋らしくなってきました。紅葉便りもちらほら。
今月の活動日のご案内です。午後の活動開始を1時間繰り上げました。

11月20日(日) 午前9時～11時

高知駅前電停脇花壇(「みんなの庭」)にパンジーやビオラなど秋～冬花約200株を植え込みます。お手伝いいただけると助かります。

(これに先立ち前日19日(土)午前に、枯れかかってきた夏花整理、土起こし、肥料やりなど準備を行います(天候次第では金曜日に)。作業は前川種苗さんをお願いしました。)

午後2時～3時 帯屋町筋中央公園前でチラシ配りと葛岡さんのギターライブ。

12月の月例活動日は11日(日)、1月は15日(日)を予定しています。

トピックス

○10月23日(日)の活動日は「みんなの庭」の雑草をほぼ完璧に取り除いて11月の植え替えに備えました。25日(火)には大和ハウス工業高知支店の職員さんたち10人以上が奉仕活動で北口のゴミ拾いと駐輪場周りの雑草取りをしてくれました。「森の中の高知駅」も加勢、見違えるほどキレイになりました。(下記ホームページをご参照ください)

○ 新図書館西側空地は「緑地」にしましょう

「高知市県と高知市が合同で建てる新図書館西側の市有地(旧追手前小学校跡地)をどう活用するかを探るため、高知市が11月にも市民にアンケートをする」そうです(10月11日高知新聞ニュース)。その折は皆さんぜひご参加ください。自然な原っぱ、みんなの庭、森…さまざまな「緑地公園」が考えられます。貴重な空間に人工物を建てる(高知市商工観光部案)ことだけは防ぎたいものです。

ご参考までに、右の写真2枚は平成24年、東京中野区中心街の警察学校跡地に誕生した防災公園「四季の森公園」です。休日には家族連れの方やジョギングなどをする方で賑わいます。「中野にぎわいフェスタ」などの大型イベントの会場としても使用されています。



↑写真中央は噴水遊び場



駅前緑化活動は篤志家のご厚志で維持されております。引き続き皆様のお力添え(花苗提供、勤労奉仕、ご寄付など)をお願い申し上げます。

♥森の中の高知駅♥ 幹事連絡先：〒780-0042 高知市洞ヶ島町1-11

中田昌志 携帯電話：090-8849-3651 E-mail：m.nakata@ak.wakwak.com

公文敏雄 携帯電話：090-7016-3743 E-mail：kumont2@yahoo.co.jp

ホームページ：<http://mori-kochi-eki.jimdo.com/>

取引銀行：四国銀行よさこい咲都支店「森の中の高知駅 代表中田昌志」名義 普通 0709695

「緑のまちづくり」を考える

(4) 山の緑、住まいの緑、まちの緑、

今から一昔前、高知駅周辺再開発が議論されていたころ、当時の高知市長さんが「北山が見える駅にしよう」と呼びかけました。駅の北側に高い建物が並んで眺望を遮ってはいけないということです。「山の緑」の眺めが新しい高知駅の魅力を高めると考えられたのでしょう。

私どもが駅前に緑を！と呼びかけておりますと、大真面目で「山にいっぱいあるじゃないか(いまさら植えんでも)」とおっしゃる方がおられます。ごもつとも。しかし、昔の町衆は身近に緑をしつらえて都会の喧騒や俗事を忘れるひとときを大切にされたそうです。ささくれた現代だから、そんな「市中の山居」がなおさら貴重に思えます。

さて、身近な「緑」といってもいろいろあります。

ベランダや軒先の鉢植えとか、庭いじりや家庭菜園を楽しむのは「住まいの緑」づくり。

一歩進めて我が家の外に関心を向けると、「まちの緑」を豊かにしたい、お手伝いしたい、という気持ちが自然に生まれてくるのではないのでしょうか。ボランティア・グループ「森の中の高知駅」はこうして誕生しました。暮らしの中で緑を育てるのは理屈抜きに楽しいし、みんなといっしょだと更に楽しいので、仲間が増えていきます。有難いことです。



①山の緑（高知駅と北山遠景）



②住まいの緑
(高知駅北側のAさん宅)



③まちの緑
(大手筋から高知城に至るグリーンベルト。追手前小跡地を広場にすれば回遊性が増して賑わいに貢献するでしょう)